

謹賀新年

「感動の八十周年に思う」

社会福祉法人道志会 理事長 川邊 溪子





発行所
社会福祉法人
道志会
神奈川県綾瀬市早川城山2-11-3
☎ 0467-76-3399 (代表)
発行人 川邊 溪子

昨年は戦後八十年と云われた忘れられない年でした。私の終戦は小学三年八歳、八十年前と云う事です。昨年は二十周年、三十周年、四十五周年、八十周年と多くの式典に参加して参りました。その中で戦後まもなく、横浜で戦災孤児の救済事業を始められた「社会福祉法人唐池学園」の創設八十周年謝恩会に参加して、重い年月を乗り越えられて、今が有る事に改めて感動を覚えております。

戦後の日本は東京、横浜は焼け野原、広島、長崎は原爆で何十万人の犠牲者が出て終戦となりました。その後は食べ物、衣類、生活用品も事欠く時代にいち早く孤児の救済を始めたのが、鶴飼正雄さん、現理事長鶴飼一晴さんのお父様でした。そしてお父様から大きな事業を引き継がれた鶴飼一晴さん、大変なご苦労と覚悟が有ったと思いますが、ご挨拶の中で「地域の皆様のお陰で今を迎えられ感謝して

います」と。又ひとテーブルごとに挨拶に来られ最後に、「皆様と共に歩んできた八十年の道のり、感謝の心を胸にこれまでをずっと、これからを大切に歩んで参ります」と締められておりました。司会進行をなさった法人事務局長の勝俣浩之さんは、毎年雑誌「雑品倉庫」をまとめ私共に送ってくださいます。法人事務局長として施設全体を把握され、理事長と事務局長が息の合った最高のパートナーだと思いました。人は出逢いによって人生が変わると云われておりますが、出逢いは必然、出逢ったと云う事は苦



しい時も良い時も自分次第だと思います。理事長の朗らかで感謝する性格は人間性、人間力を感じた謝恩会でした。歴史ある施設のこれからのご発展を心からお祈りし、応援してまいりたいと思いをいたしました。今年こそ平和な年で有る事を祈っております。

昭和歌謡と落語の会 ～高瀬一郎と林家たけ平の楽語の世界～

ヴィラ城山 ホーム長 井上 克治

9月5日、道志会の敬老会イベントとしてスペシャルコンサートを開催しました。道志会老人ホーム5階大ホールにて高瀬一郎さんと林家たけ平師匠の二人会でした。高瀬一郎さんは、日本コロムビアの歌手で鹿児島県出身、昭和54年NHKのど自慢グランプリチャンピオン、デビュー曲の「ごめんないね」で日本コロムビアレコード新人賞受賞。現在は熱海観光宣伝大使を務めるなど、活躍されています。

林家たけ平師匠は、昭和歌謡をこよなく愛する落語協会所属の真打、落語家です。古典落語から滑稽、人情、怪談まで幅広い演目を得意としています。台風の影響で気象が荒れている中での開催となりましたが、道志会老人ホームとヴィラ城山のご入居者ご家族、デイサービス、西デイサービスのご利用者、ご近所の方々200人以上の方にお集まりいただき大盛況の会となりました。

第一部は林家たけ平師匠の落語で開演しました。落語家の小道具の使い方、表現の仕方など説明をまじえながらの噺、会場のお客様との掛け合いも絶妙で場内爆笑でした。

第二部は高瀬一郎さんの歌謡ショーです。ここで歌われたのが今日の1曲、高瀬一郎さんの最新曲「望郷歌」です。作詞・荒木とよひさ、作曲・船村徹の豪華コンビによるこの曲は、25年程前に「望郷」という歌で都はるみさんが歌う予定の曲だったそうです。歌というものは1曲1曲に、それぞれの歴史があり面白いと林家たけ平師匠がおっしゃっていました。

第三部は林家たけ平師匠の司会で高瀬一郎さんが昭和歌謡を歌う「昭和歌謡史」～高瀬一郎と林家たけ平の楽語の世界～の開演です。懐かしい昭和の名曲たちの歌謡史を林家たけ平師匠が楽しくうんちく披露、高瀬一郎さんと掛け合いをしながら時代を超えて愛され続ける昭和の名曲を届けていただきました。終盤では会場のお客様も一緒に大合唱をしました。

昭和歌謡と落語の会

9.5金

13:30～15:30

馴染みのある昭和の名曲と日本の伝統文化である落語をお楽しみいただける催しです

入場料

無料

道志会老人ホーム5階 地域交流室



た。普段、穏やかなご入居者も今日は大きな声で楽しそうに歌っていました。会場の皆様の元気なお姿は大変ほほえましく、心温まるひと時を過ごしました。今後とも皆様が健やかで穏やかな日々を過ごせるよう、笑顔あふれる毎日を送っていただけるよう、精一杯お手伝いさせていただきます。今日を迎えられました皆様の長寿を心からお祝い申し上げます。

交通安全教室

不二保育園 園長 飯田 弘江

全国秋の交通安全運動期間中の9月24日、神奈川県警交通安全教育隊をお招きし、ヴィラ城山と不二保育園合同の交通安全教室を行いました。

園児とその保護者、ご入居者が交通安全ルールを学び、一緒に横断歩道の正しい渡り方を練習しました。園児は初体験、ご入居者は再確認ができたことでした。実際に役立つことを期待したいと思っています。

その後ご入居者は大和警察署生活安全課の方より特殊詐欺の手口やその予防方法のお話を聞かれ、園児達はパトカーと白バイを身近で見たり、防犯キャラクターと触れ合ったりいずれも興味津々、パトカーの赤色灯が廻ったりサイレンが鳴るともう大興奮でした。お年寄りやおまわりさんとも交流し、貴重な体験ができたと思います。

今後ともこうした合同行事等の機会を作り、楽しんでいきたいと思ひます。



綾瀬市生涯学習お届けバラ講座

ヴィラ城山 住宅型相談員 東海林 佐和子

8月7日に、ヴィラ城山に綾瀬市の市史文化財担当学芸員の伊東はるか様を講師にお招きして、市内の歴史や史跡の講座を受けました。

近くを流れる目久尻川流域は、国指定史跡の神崎遺跡、県指定文化財が出土した吉岡遺跡や宮久保遺跡があり、旧石器時代約4万年前からの人々の生活の痕跡が今も残っている地域だそうです。

又、何人かのご入居者も初詣に行く五社神社には椎の太木があり、昔から土地の守り神として、神様と同様に大切にされているとのこと。ヴィラ城山に隣接している早川城山遺跡からは、今から1500年前の緑・黄・白の三食で飾られた「奈良三彩」が出土しており、県内で十例しか見つかっていない貴重な遺跡出土品とのことでした。



伊東様には

綾瀬市に所蔵されている土器をご持参頂き、ご入居者は実物の土器に触れられ、当時の綾瀬の暮らしに思いを馳せることが出来たようです。

今回は綾瀬市の「お届けバラ講座」の中のひとつを利用した講座で、ご入居者からも「楽しかった」と大好評でした。この講座をきっかけに、いつもの散歩コースが、歴史を感じながらの違った景色に見える事と思います。



駿河湾と海の幸

ヴィラ城山 住宅型相談員 滝澤 徳子



10月14日はご入居者と2回目のバス旅行に行ってきました。

台風23号の影響であいにくの小雨交じりの空模様でしたが、気分は上々。

行き先は「美穂の松原、日本平夢テラス、河岸の市で買い物」です。

富士山に「ほんの少しでいいから姿を見せて」と願いながら、世界遺産の三保の松原に向かいました。羽衣の松は三百年の年月が経ち、現在は3代目と聞きます。周りには3万本の黒松が、幹をくねらせ枝を伸ばして林立している風景は見事でした。

天気がいれば松林と富士山と駿河湾の青い海の絶景に出会えるのですが、残念でした。

昼食は「茄子の花 無庵」へ。店内に入り、狭く仄暗くお茶の香りが漂う空間を通り、期待感を膨らませながら食事の部屋に向かいました。部屋には期待を裏切らないお料理が並び一同感激いたしました。目の前のお料理に、乾杯を待ちきれず箸が動きます。お酒も少し入って、笑いとお喋りの花が咲きました。盛り付けの素晴らしさと、おもてなしの心遣いがあちこちに感じられ、お腹も心も満足させて頂きました。

帰りの車内では、姿を見られなかった「富士山」と「道志会老人ホームの歌」を皆で合唱し、思い出がまた一つ増えました。

天候には恵まれない一日でしたが、温かな交流が図れ、より深く繋がれたのではないのでしょうか。法人はじめ職員の皆様の協力を得て、何事もなく笑顔で帰館できたことを心より感謝いたします。本当に有難うございました。



ヴィラ城山

敬老の日によせて

道志会老人ホーム ケアマネジャー 松村 さをり



9月15日、道志会老人ホーム5階で敬老会を開催いたしました。今年度100歳を迎えた方が1名いらつしやう、内閣総理大臣より祝い状と銀杯が贈られました。その方のご家族様より敬老のお祝いによせてお言葉を頂戴いたしました。

「戦後80年を迎えた今年ですが、1世紀100年を生き抜いてきた中、誰もがいちばん生き生きと過ごす青春時代を戦争という悲惨な時を経て来たことは、想像すらできません。戦後に結婚し私たち子どもを育てながらの、なれない事なども多く身体を崩したりしてからは、体調には注意して生活をしていました。近年では地域の人とのおしゃべりや、歌つたりするのが楽しみであつたように思います。今では私達子供や、孫やひ孫とのふれあいを楽しみにしており、4月の誕生日には総勢36名で紀寿のお祝いをしました。道志会に入所してから、皆様と楽しく過ごしているようですが、これからも体調に気をつけて余生を楽しんでほしいと願っております」

綾瀬市の高齢者訪問では前出の100歳の方の他に、綾瀬市最高齢106歳のご入居者が市長よりお祝いをいただきました。



五社神社例大祭に参加して

道志会老人ホーム 機能訓練指導員 山口 武志



9月27日に綾瀬市早川地区にある五社神社の例大祭で行われた「神輿渡り」に参加させていただきました。

この神輿渡りは毎年道志会に立ち寄ってくださり、迫力ある神輿の練り歩く姿を披露され、ご利用者、スタッフを楽しませてくれます。今回その担ぎ手として選出され参加をとても楽しみにしていました。

当日は朝早くに神社へ集合、法被(はつぴ)に着替えられた担ぎ手の姿を見て、又今年で49回目と長年受け継がれてきたことを知り、緊張が走りました。

実際に神輿に触れるのも担ぐのも初めての私は、担ぎ始めた瞬間、肩にずつしりと伝わる重さを感じました。周りの担ぎ手たちの掛け声に圧倒され、一緒に参加した子供たちの声援や沿道で応援してくれている地域の方々の声に励まされながら走り歩き、その一体感を強く感じる事ができました。

中でも何より印象的だったのは担ぎ手同士です。初対面の方も多く、始めは息が合わないことがありましたが、徐々に互いにかかけ合いながら神輿を担いでいく中で、不思議と息も合っていく、言葉を越えて心が通い合う瞬間が何度もありました。神輿渡りを終えた後は、肩の疲労を実感しつつも地域の皆様と一緒でできた達成感を感じることができました。

今回の交流や伝統に触れ、その一部を担うことができたことは何よりも代えがたい貴重な体験でした。年々担ぎ手が減少傾向となつていくことですが、また機会があれば参加させていただきたいと思っています。

道志会
老人ホーム

高校生とランチで交流

綾瀬西デイサービスセンター 生活相談員 織田 菜穂子

綾瀬西高校（以下西高）と併設しているという特徴を活かして、綾瀬西デイサービスセンターと西高は沢山の交流の機会があります。今回はランチ交流と学校開放についてお話しします。ランチ交流とは、春と秋に西高の生徒さんに参加希望を募り、ご利用者と一緒に昼食を共にするという行事です。こちらは平成15年5月から始まり今年の11月で37回目を迎えました。以前までは生徒さんに昼食を持参していただいていたのですが、36回目交流から、ご利用者に提供している昼食を予約出来る形に変わりました。味、ボリューム共に好評いただいています。ご利用者の皆さんは、お孫さんと話すように穏やかに優しい口調で会話をされています。生徒からは、「沢山話しができました、次も参加したい」「一緒にゲームをして楽しかった」等嬉しい感想をいただきました。核家族が進む昨今、お互いに貴重な時間なのかもしれません。

令和7年度から新たな交流として、学校開放が始まりました。月に2回、先生方の案内でご利用者が授業を見学します。教室は出入り自由、生徒さんに「難しい？大変ね」と話しかけたりしていました。



帰りの送迎時間は生徒さんの帰宅時間と重なります。ご利用者が乗った車に向かって手を振ってくださるのを見ると、こちらまで嬉しくなります。高校の中にある通所介護施設として自然に触れ合える環境を目指し、今後も良好な関係を築いていきたいと思



綾瀬西
デイサービス
センター

道志会ケアセンターでの敬老会

ケアセンター 生活相談員 菅原 美紀

今年も9月に敬老会が行われました。ご利用者は曜日ごとに入れ替わってお越しくださっている方で、多くの方にお楽しみいただきたく、4日間を設けました。

ケアセンターの職員は芸達者が多く、それぞれ得意な芸を披露します。毎年恒例の行事ですが、ご利用者によつてはこの時期に限って全日の利用を希望される方もいらっしゃいました。

職員は最初から芸が出来た訳ではありません。ご利用者の喜ぶ姿を思い浮かべながら自分に何かできないかと、先輩や同僚と相談しながら練習に励みました。

フラダンス、オカリナ演奏、ソーラン節、日本舞踊、カラオケ芸等々



練習の成果を披露、ご利用者から「楽しかった」「この職員はすごいな」等、たくさんのお褒めの言葉を頂戴しました。またこの敬老会には現役職員だけでなく退職した元職員もボランティアで参加し、さらに盛り上がりしました。

道志会ケアセンター自慢の職員芸はかれこれ15年以上続いております。楽しいひとときをお過ごしただけでいい、更に精進してまいります。



道志会
ケアセンター



ヴィラ城山 作品展パネル

ヴィラ

11月



ヴィラ入居者 作品展に出す金魚つり作成風景

ヴィラ

11月



可愛いおててが紅葉になりました

保育園

11月

綾瀬西高校と合同夏まつり
「ボールキャッチできるかな」

西ティ

7月

お菓子すくいに挑戦！
大漁だ～!!

7月



綾北マーキュリーウィングズの演奏後 感動の握手

ヴィラ

11月



作品展に向けて 美味しい柿を作りました！

ケアセンター

11月



運動会開催します

西ティ

10月



7月



7月

道志会夏祭り
暑い1日。盆踊り、お囃子で盛りあがります！

ホーム

～道志会イベント紹介～



未知なる体験してきました（チームラボにて）

11月



ケアセンター 作品展の前でパチリ

11月



みんなでおすまし「はい チーズ！」

保育園

10月



100才お誕生日おめでとうございます

西ティ

11月

編みぐるみ作成
ヘルパー管理者 吉澤ひとみ

西ティ

11月



私達の作品がこんな素敵に!!



ハロウィンでご入居者と園児さんとの交流をしました

ヴィラ

10月

高校の文化祭に参加
アレンジメントできました

9月

「ほって、ほって、またほって」
皆で大きな声で盆踊り楽しみました

西ティ

8月

綾西小学校4年生総合授業への協力

道志会老人ホーム 施設長 大滝 愛子

8月上旬、綾西小学校の先生より道志会老人ホームへ1本の電話がありました。4年生の総合授業で福祉について1年かけて学習しており、2学期より訪問交流を通して学習を進めたいという旨のお話を聞き、協力させて頂く運びとなりました。



交流学習は3段階に分けて行い、1回目は学校に我々が向いて「特養に暮らす方々」に焦点を当てた地域高齢者福祉についての授業を実施しました。2回目は1クラスごとにホームへ来園して、施設見学とご利用者との交流を通して「特養に暮らす方の特性」を体験しました。普段目にするものではない特殊浴槽や、とろみのついた飲み物に、児童の皆さんからの質問が後を絶たず、時間切れとなってしまつ場面もありました。ご利用者様が児童の皆さんに直接お部屋を案内していただく機会もあり、賑やかな交流となりました。3学期には、これまでの学習を活かし、自分たちで考えたレクリエーションをご利用者の皆様と一緒に行う、という授業を迎えます。



熱意ある先生方のご協力で、地域の福祉拠点としての役割が果たせることを嬉しく思いつつ、今回このような機会を頂いたことに感謝申し上げます。

あやせ福祉ふれあいまつりに参加しました

道志会老人ホーム 管理栄養士 高木 直子

しろやまコロッケは、綾瀬市で有名な高座豚・ブロッコリー・とうもろこしを入れたコロッケです。ホームの給食メニューとして、また数年前から道志会のバザーでも販売しています。今回初めて「あやせ福祉ふれあいまつり」で販売しました。10時頃から用意した59食（販売価格1ヶ150円）、完売となりました。

またこの日、ホームご利用者の昼食で提供したタコライスのミニサイズも11時40分頃から28食（販売価格1ヶ350円）販売しました。タコライスは、暑い時期なので衛生面を考慮し、生野菜のレタスやトマトは使用せず、代わりに加熱した茹でキャベツと赤や黄色のパプリカを使用しました。お昼時ということもあり、こちらも12時前に完売しました。

道志会の食事は、道志会農園で採れた新鮮な野菜を取り入れた手作りの食事です。直営の調理師がより美味しいものを作るべく、日々技術を磨きながら心を込めて食事作りをしています。そんな唯一無二の道志会の味。地域の皆様にも楽しんでいただけたようで、嬉しく思います。



編集後記

11月に開催した作品展は盛況に終わることができました。ご利用者の作品作成には毎回ボランティアの先生方がご協力くださり、又準備、当日もご家族様や地域の方々にも多数ご協力いただきました。心より御礼申し上げます。さてこの作品の中には職員が作成したものもあり、ご覧いただいた方のお気持ちを頂戴しお持ち帰りいただいたものがありました。道志会同様ご愛顧いただけると幸いです。これから様々な行事等を通じて皆様とのお縁を賜りますようお願いいたします。



法人事務局 事務長 倉下 学

令和7年度
表彰おめでとうございます
(敬称略・順不同)

【神奈川県社会福祉協議会会長顕彰】
酒井 雄二
(道志会老人ホームケアセンター管理者)

鈴木 啓子
(道志会老人ホーム調理員)

富坂 義宣
(道志会老人ホーム ケアワーカー)

おこわり

※今回掲載させて頂いたご入居者・ご家族の写真や文章については了解を得ております。
※会報発行にあたりご意見等をぜひお寄せください。

